

法教育教材

検察庁では、法教育の具体的内容及びその実践方法をより分かりやすくするため、法教育に関する教員向けの冊子教材及び視聴覚教材の貸出しをしています。

また、法教育授業の実施に当たり、検察庁職員を派遣し、裁判員裁判の説明や模擬裁判のお手伝いも行っています。

学校における授業のほか、教員研修、教員養成課程など、様々な場面での法教育の取組に御活用ください。

なお、法教育教材（冊子、ワークシート、DVD等）については、法務省ホームページでもデータを公開しており、どなたでも無料で御利用いただくことができます。

その他、法務省ホームページでは、教材を利用した「モデル授業例」も公開されていますので、そちらも是非御活用ください。

法務省・法教育ホームページ：<http://www.moj.go.jp/housei/shihouhousei/index2.html>

教材一覧

■小・中学生向け冊子教材

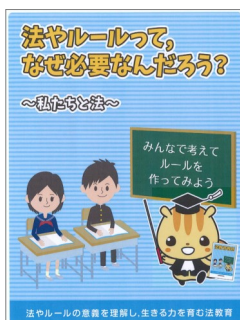
身近で具体的な事例を基に4つの題材から構成しており、実際の授業を想定した指導計画、ワークシートを盛り込むなど、授業の流れや留意点を明記した実践的な教材です。

学校現場において活用いただける各題材と学習指導要領の対応関係についても記載しています。



【小学生向け】ルールは誰のもの？～みんなで考える法教育～

- 題材 (1) 友だち同士のけんかとその解決（対象:小学3・4年生）
(2) 約束をすること、守ること（対象:小学3・4年生）
(3) もめごとの解決－国民の司法参加・ルールづくり－（対象:小学5・6年生）
(4) 情報化社会における表現の自由と知る権利
－情報の受け手・送り手として－（対象:小学5・6年生）



【中学生向け】法やルールって、なぜ必要なんだろう？～私たちと法～

- 題材 (1) ルールづくり（ごみ収集に関するルールを作ろう）
(マンションのルールを作ろう)
(2) 私法と消費者保護（契約とは何だろう）
(3) 憲法の意義
(4) 司法

■小・中学生向け視聴覚教材（DVD）

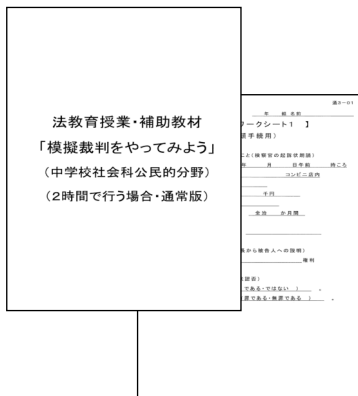


先述の2つの冊子教材（「ルールは誰のもの？」「法やルールって、なぜ必要なんだろう？」）の内容をアニメーションにより映像化したDVDです（各題材15分程度）。

「問題提起」や法教育マスコットキャラクターホウリス君による「解説」などの場面ごとにチャプター分けされており、授業の計画に応じて部分的に使用することも可能です。

是非、冊子教材と併せてお使いください。

■中学生向け冊子教材：模擬裁判をやってみよう！（中学3年生対象）



中学校社会科公民的分野で使用される「新編 新しい社会 公民」（東京書籍）「模擬裁判をやってみよう」の授業で、実際に模擬裁判を実施するための補助教材です。

模擬裁判を進めるためのシナリオ、ワークシート、証拠品作成用キットなどを提供しています。

2時限で行うもの（通常版）に加え、1時限で行うもの（短縮版）も作成していますので、各学校の年間指導計画に合わせてお使いください。

■高校生向け冊子教材：未来を切り拓く法教育

高校生の段階で学んでおくべきと考えられることを、「ルールづくり」、「私法と契約」、「紛争解決・司法」の3テーマに整理し、実際の授業を想定した指導計画、ワークシートを盛り込むなど、授業の流れや留意点を明記した実践的な教材です。学校現場において活用いただける各題材と学習指導要領の対応関係についても記載しています。

2018年3月告示の高等学校学習指導要領において新設された「公共」の授業において使用されることを想定して作成されていますが、2009年3月告示の学習指導要領の「政治・経済」において使用いただくこともできます。

この教材は、公益財団法人消費者教育センターが主催する「消費者教育教材資料表彰2019」の優秀賞を受賞しました。

題材（1）ルールづくり（ルールの在り方を考える）

- ・合意形成を図ろう～どこに橋を作るべきか～
- ・新たなルールを考えよう～ルールのない村～
- ・海水浴場の利用ルールを作ろう
- ・大学入試のアファーマティブ・アクションについて考えよう

（2）私法と契約

- ・契約とは何か

（3）紛争解決・司法

- ・民事紛争解決①～民事裁判・けがの責任をめぐって～
- ・民事紛争解決②～模擬調停・臭いをめぐる争い～
- ・刑事紛争解決 ～被告人は「犯人」なのか～

